

「北のアーティスト」スペシャルプログラムにダンス動画が掲載されました



西野 留以
NISHINO RINA



公益社団法人北海道文化財団が、新型コロナウイルス感染症の影響下で活動を自粛している道内在住及び出身の舞台芸術分野のアーティスト等の活躍の場を提供し、作品等の動画をインターネット上で提供することにより道民の皆さまに身近に芸術文化に触れてもらうことを目的に取り組む「北のアーティスト」スペシャルプログラムに第1期生西野留以さんのダンス動画が掲載動画として選定され、インターネット上に公開されました。

みらチャレ留学で学んだダンス技術を活かした躍動感とキレのあるダンスを披露しています。

西野留以さんの動画 「Whereabouts／三岸好太郎美術館公演／北海道胆振東部地震復興支援チャリティコンサート」

<https://youtu.be/J3kEDFuG-is>

岩見沢西高校の授業で演奏 ～選択音楽「演奏に親しむ」～



R2.8月に第3期生清水柚衣さんが自身の母校でもある岩見沢西高校の選択音楽授業で、ショパンのワルツや、リストのメフィストワルツなど全5曲を演奏しました。

また、作曲家でありピアニストでもある同校の杉山教諭と「2台のピアノのための作品Idyll」も演奏しました。この作品は2010年にFrancis Kayali氏により作曲された曲で、今回の演奏が世界初演となりました。

清水さんからは、「新型コロナにより人前での演奏機会を失い、客観視がなかなかできていませんでしたが、聴き手がどんな気持ちで聴いてくださるか想像しながら練習することが大切だと強く感じました。エネルギーに溢れた高校生と交流ができ、たくさん元気をもらうことができました。」と感想を述べていました。

道の駅の英語版食事メニューを作成 ～「道の駅サロマ湖」での事後インターンシップ～



アドベンチャーツーリズムの調査研究と地域資源を活かした観光振興を学ぶためアメリカに留学した第3期生海辺菜々美さんが、佐呂間町の「道の駅サロマ湖」でR2.8月に事後インターンシップを行いました。

海辺さんは、留学で学んだ知識とスキルを活かし、外国人観光客も数多く訪れるこの道の駅で、何かホスピタリティ向上を図れることはないか考え、物産館の英語版食事メニュー作成を企画し、全て自らデザインし、作成しました。

メニューは実用的でわかりやすく、それぞれの料理を写真で紹介するとともに、使われている食材も英語で記載してあるのが特徴です。